

平成29年度「ビジネス経済」 シラバス

科目名	単位数	学年	学期	対象学科
ビジネス経済	2	3	全	3年国際経済科(選択)

1 概要および目標

- (1) 現代経済において経済理論が果たす役割とそれを学ぶ意義を理解させる。
- (2) ビジネスに必要な経済に関する基礎的な知識を習得させる。
- (3) 経済の仕組みや概念について理解させる。
- (4) 経済に関する基礎的な理論を基に、経済事象を主体的に考える能力と態度を育てる。

2 成績評価

評価方法は、各学期ごとに行われる定期考査、ノートやプリント等の提出物、検定を評価の対象とし、総合的に判断する。

定期考査	70%	検定	10%	授業態度	20%
------	-----	----	-----	------	-----

3 使用教科書・教材

教科書 : ビジネス経済 (実教出版)
 副教材 : ビジネス経済問題集 (実教出版)

4 授業の展開と形態

3年生で2クラス選択 B (数学Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅱ、ビジネス経済、経済活動と法)の中から選択

5 学習方法

- (1) 年度初めにビジネス経済についてオリエンテーションを行う。
- (2) 年間を通して、ビジネス経済について重要な役割を学習し、確認テストなどで理解を深める

6 観点別評価の趣旨

評価の観点	内 容
関心・意欲・態度	現在の経済状態について関心をもち、その展望について自らの考えを整理する意欲や態度が身についているか。
思考・判断・表現	経済活動に関する諸問題を理解し解決するために、日頃から自らの思考を深め、学習した知識や見識を活用し、経済が抱える諸問題を適切に判断して、その解決について創造する能力が身についているか。 経済に関する自らの意見を的確に表現する能力が身についているか。
技能	経済に関するさまざまな情報や資料を各メディアから収集し、そのなかから適切なものを選択して、主体的に活用する能力が身についているか。
知識・理解	経済に関する基礎的・基本的な知識と見識を身につけ、それを現実の諸問題に適用できる水準まで理解を深めているか。

7 学習計画

月	時間	単元名・学習内容	学習内容	備考
4	6	オリエンテーション 第1章 市場と経済 1.資源配分のしくみ 2. 現代の市場経済とビジネス	授業内容・趣旨を理解し、決まりを守れるようにする。 自らの生活と市場との関わりを実感させ、市場の概念を理解させる。 現代の市場経済の特色について、サービス化・情報化・国際化の観点から考察させる。	
5	7	第2章 需要と供給 1. 需要の概念と需要の変化	需要の意味を理解させ、価格と需要量の関係について理解させるとともに、需要曲線が右下がりとなることを理解させる。	1学期中間考査
6	8	2. 供給の概念と供給の変化	「総費用＝変動費＋固定費」という概念を理解させ、変動費の例として労働費をあげることによって限界費用逡増の法則を理解させる。	1学期期末考査
7	6	第3章 価格決定と市場の役割 1. 価格決定のしくみ 2. 市場の役割と課題	需要曲線と供給曲線を図示しながら、均衡点で均衡価格と均衡量が達成されることを理解させる。 資本や労働などの生産要素の配分と市場について、財の配分と対比しながら理解させる。	
9	9	第4章 経済成長と景気循環 1. GDP（国内総生産） 2. 経済循環	家事労働やボランティア、余暇などを例として、GDPと豊かさの関係を再考させる。 経済循環のなかでの家計と企業とのかかわりあいについて、それぞれの生産物市場、生産要素市場、金融市場との関係を通じて理解させる。	
10	8	3. 物価と実質GDP	物価指標の存在について認識させ、消費者物価指数について概観させる。	2学期中間考査
11	9	4. 経済成長	働供給が経済成長に与える影響を理解させ、わが国の人口減少や少子高齢化について考察させる。	2学期期末考査
12	6	5. 景気変動とインフレーション	景気トレンドについて、それぞれの局面を踏まえ認識させる。	
1	9	第5章 経済政策 1. 財政 2. 金融-1	わが国の予算制度について概観させる。 わが国の社会保障制度について概観させる。 貨幣について、一般的交換手段、価値尺度、価値貯蔵手段という三つの側面から理解させる。 日本銀行について、唯一の発券銀行、政府の銀行、銀行の銀行という三つの性質から理解させる。 わが国の近年の金融政策について認知させる。	3学期末考査
2	2	2. 金融-2	日本銀行について、唯一の発券銀行、政府の銀行、銀行の銀行という三つの性質から理解させる。 わが国の近年の金融政策について認知させる。	
		合計 70		

